

水道 News 現場レポート17 エコハイパー施工例

保護層付ポリエチレン管「エスロンエコハイパー」JW」。製品の特長である「高耐久」「紫外線劣化防止」を生かし、傾斜地での配管に採用されています。

「エスロンエコハイパー」JW」の外面をリサイクルポリエチレン樹脂で保護した「エコハイパー」JW」。紫外線による管の劣化を防止するほか、砕石等による外傷から、配管を防護します。

重機等による機械掘削が困難な、急傾斜地、山間地、土砂崩れ現場など、従来配管で施工困難な場所で役立っています。



[事例1] 山間傾斜地での施工
エコハイパー JW150A の施工状況。
150 - 5m の管重量は、約 50kg / 本。
重機が侵入できない山間部でも、人力で小運搬
出来ます。



[事例1] 山間傾斜地での施工
外面保護層には、柔軟性の高い低密度ポリエチレン
を採用。エスロンエコハイパー同様生曲げ施工により、構
造物を避けて、配管出来ます。



[事例2] 急傾斜地での施工
急傾斜地（のり面）にエコハイパー JW150A
を布設しました。斜面の傾斜 45° 以上。管
固定には、コンクリート基礎を用いました。



[事例2] 急傾斜地での施工
急傾斜部分など、掘削が困難な場合でもエコハイパー
なら、紫外線劣化の心配がありません。安心して
使用できます。



[事例 3] 破損管路の復旧
土砂崩れにより、破損した導水管 7 5 A の復旧
作業にエスロハイパー JW 7 5 A を使用しま
した。



[事例 3] 破損管路の復旧
土砂崩れが発生した部分は、地盤が安定していな
い為、斜面下に配管を布設していきます。



[事例 3] 破損管路の復旧
直線部分は、作業性の良い場所で、あらかじめ
E F 接合して作成した長尺管を運び込んで施
工しました。7 5 A の場合 2 本つないでも約 3
0 k g と軽量です。



[事例 3] 破損管路の復旧
柔軟性のあるエコハイパーなら、足場が悪い山間
部でも、樹木を避けながら布設場所まで運び込め
ます。

**山間傾斜地など、従来施工が困難だった部分の施工省力化
にエスロンエコハイパー JW が協力します。**